

**製品名:  $\alpha$ 1 フェトプロテインウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab00486**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 69 kDa; Observed MW: 69 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	AFP
別名	Alpha-fetoprotein; Alpha-1-fetoprotein; Alpha-fetoglobulin
遺伝子 ID	174
SwissProt ID	P02771
免疫原	抗血清はヒト AFP の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 371-420

**背景**

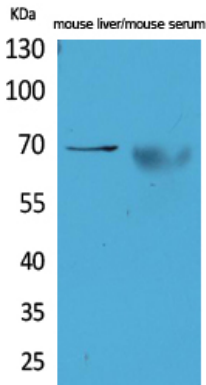
アルファフェトプロテイン (AFP) は、哺乳類の胎児肝臓、卵黄嚢、および消化管に存在する 65 kDa の糖タンパク質です。正常な成体細胞では、p53 が AFP 遺伝子のリプレッサー領域に結合し、転写を阻害します。p53 と  $\beta$ -カテニンの両方の変異は、AFP の異常な

発現と関連しています。研究では、血清中の AFP 値の上昇は肝細胞癌の予測因子であることが示されています。

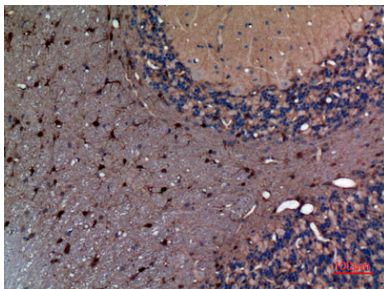
## 研究分野

癌

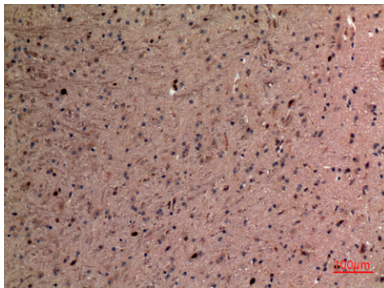
## 画像データ



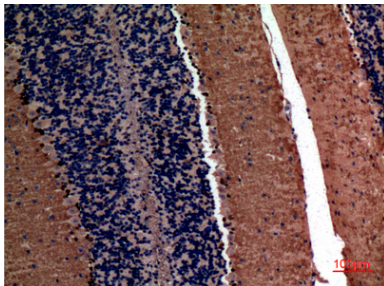
アルファ 1 フェトプロテイン抗体を使用したマウス肝臓、マウス血清溶解物中のアルファ 1 フェトプロテインのウェスタンブロット分析。



アルファ 1 フェトプロテイン抗体を使用したパラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



$\alpha$ 1 フェトプロテイン抗体を用いたパラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



アルファ 1 フェトプロテイン抗体を使用したパラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。